

(一社)全検協事務局
専務理事 佐藤四郎

第 4 回容器検査主任者講習会(一般高圧ガス)を開催

当協会の一般高圧ガス技術委員会は7月27日(月)第4回容器検査主任者講習会を名古屋市「ウィンクあいち」にて開催。中京、東海、北陸、信越などの地域を対象に会員・非会員34名が受講しました。始めに白砂清一会長(大静高圧(株)代表取締役)の挨拶、講師は技術委員長の鈴木良和常任理事(日東高圧(株)代表取締役)が務めました。講習内容は「産業用容器整備手順、医療・飲料用整備手準」、「スクーバ及び救助用・在宅医療用容器整備手順」他。休憩各10分を挟み、(一社)日本産業・医療ガス協会より橋本和宏氏からRFタグ取扱いの説明等と続き、受講者の熱心な取組みもあり充実したものとなりました。その後、受講者には修了証が渡されました。

容器検査主任者講習会については旧通商産業省立地公害局保安課長通達により「容器検査主任者は選任辞及び選任から3年毎に講習を受講すること」とありましたが、平成10年になり検査主任者講習会の受講義務がなくなりました。そのため当協会では旧「全国高圧ガス容器検査所連合会」として発足以来、経済産業省や高圧ガス保安協会など関係団体と協力して業界の保安や技術の向上等に取り組み、各地で容器検査主任者講習会など各種講習会を開催しています。

今回の講習会では、(一社)日本産業・医療ガス協会と協賛会社(大同興業(株)、(株)ハマイ、高圧ガス工業(株)、大陽日酸(株)、イワタニ情報システム(株))にご協力を頂きました。一般高圧ガスの主任者講習会はこのあと2回予定しており、次回は10月に仙台で開催予定です。またLPガスの主任者講習会等も計画しておりますので、詳細はホームページをご覧ください。(講習会場にて)

